



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 日本化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4092 URL <https://www.nippon-chem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 棚橋 洋太  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 熊田 雄司 TEL 03-3636-8038  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,711	△4.5	905	△38.3	1,000	△33.0	698	△35.4
2022年3月期第1四半期	10,172	20.5	1,468	90.3	1,493	94.3	1,081	93.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 406百万円 (△43.4%) 2022年3月期第1四半期 719百万円 (△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	79.37	—
2022年3月期第1四半期	123.01	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	69,862	41,834	59.9
2022年3月期	70,431	41,867	59.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 41,834百万円 2022年3月期 41,867百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	50.00	85.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.9	2,100	△46.4	2,200	△43.1	1,400	△62.5	159.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	8,922,775株	2022年3月期	8,922,775株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	121,086株	2022年3月期	121,086株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	8,801,689株	2022年3月期1Q	8,795,706株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策やワクチン接種普及等により一時持ち直しの動きが見られたものの、原材料価格の高騰や急激な円安の進行、さらにウクライナ情勢の長期化等が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、今年度よりスタートしました新中期経営計画に掲げる成長戦略の推進と成果の実現に向け、「成長事業の拡大」、「グローバル化の推進」、「経営基盤の強化」という3つの重点施策を全社一丸となって取り組みました。また、足元の原材料価格の高騰を受け、当期においては、化学品事業を中心に販売価格の改定を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は97億1千1百万円（前年同期比4億6千1百万円減）となり、経常利益は10億円（同4億9千2百万円減）となりました。

この経常利益に投資有価証券売却益1千1百万円の特別利益に加え、固定資産除却損1千1百万円の特別損失及び法人税等1億3千3百万円を差引き、更に法人税等調整額1億6千8百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億9千8百万円（同3億8千3百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### ①化学品事業

化学品事業では、クロム製品はめっき向けが大幅に伸び、また、原材料高を起因とする販売価格の改定により、売上高は大きく増加しました。シリカ製品はサプライチェーンの見直しを行ったものの、原材料高を起因とする販売価格の改定により売上高は増加しました。燐製品は一般工業向けや半導体向けが大幅に伸び、また、原材料高を起因とする販売価格の改定により売上高は大きく増加しました。この結果、化学品事業の売上高は、55億5千5百万円（同18億6百万円増）となりました。

#### ②機能品事業

機能品事業では、ホスフィン誘導体は海外向けや量子ドット向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。農薬は原材料の調達難や顧客の在庫調整等により、売上高は大きく減少しました。電池材料は大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。電子セラミック材料は自動車や通信向けが低調に推移したことにより、売上高は大きく減少しました。回路材料は接着剤向けが大幅に伸びたことにより、売上高は増加しました。高純度電子材料は顧客の在庫調整等により、売上高は大きく減少しました。この結果、機能品事業の売上高は、37億3千3百万円（同9億8千8百万円減）となりました。

#### ③賃貸事業

賃貸事業は、堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。この結果、賃貸事業の売上高は、2億2千8百万円（同0百万円減）となりました。

#### ④その他

書店事業は、書籍販売が低調に推移したことにより、売上高は減少しました。この結果、報告セグメントに含まれない事業セグメントの売上高は、1億9千3百万円（同6百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億6千8百万円減少し、純資産は3千3百万円減少しております。その結果、自己資本比率は59.4%から59.9%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が17億4千万円減少し、商品及び製品が7億8百万円増加し、原材料及び貯蔵品が9億2千3百万円増加しております。

固定資産では、有形固定資産が3億7千6百万円減少し、投資有価証券が4億2千4百万円減少しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が4億5千6百万円増加し、未払法人税等が1億7千7百万円減少し、賞与引当金が3億4千4百万円減少し、設備関係未払金が2億7千6百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が4億3百万円減少し、退職給付に係る負債が2千6百万円減少しております。

株主資本では、利益剰余金が2億5千8百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が2億8千8百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,012	7,271
受取手形	756	680
売掛金	10,239	10,528
商品及び製品	3,946	4,655
仕掛品	3,098	3,563
原材料及び貯蔵品	2,758	3,682
未収消費税等	171	1
その他	1,226	1,079
貸倒引当金	△491	△491
流動資産合計	30,718	30,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,764	36,796
減価償却累計額	△23,224	△23,465
建物及び構築物(純額)	13,539	13,330
機械装置及び運搬具	15,492	16,428
減価償却累計額	△8,261	△9,459
機械装置及び運搬具(純額)	7,231	6,969
土地	7,466	7,466
建設仮勘定	2,772	2,920
その他	6,415	6,441
減価償却累計額	△5,561	△5,640
その他(純額)	854	800
有形固定資産合計	31,864	31,487
無形固定資産		
その他	448	416
無形固定資産合計	448	416
投資その他の資産		
投資有価証券	6,385	5,960
長期貸付金	1	0
繰延税金資産	92	86
退職給付に係る資産	580	605
その他	362	355
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	7,399	6,985
固定資産合計	39,712	38,890
資産合計	70,431	69,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,390	3,847
短期借入金	8,886	8,899
未払法人税等	297	120
未払消費税等	20	17
賞与引当金	472	128
設備関係未払金	1,580	1,304
その他	3,058	3,271
流動負債合計	17,706	17,589
固定負債		
長期借入金	7,033	6,630
繰延税金負債	610	635
退職給付に係る負債	1,093	1,067
その他	2,118	2,104
固定負債合計	10,857	10,438
負債合計	28,563	28,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,270	2,270
利益剰余金	30,809	31,067
自己株式	△337	△337
株主資本合計	38,499	38,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,035	2,747
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	24	49
退職給付に係る調整累計額	307	279
その他の包括利益累計額合計	3,368	3,076
純資産合計	41,867	41,834
負債純資産合計	70,431	69,862

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	10,172	9,711
売上原価	7,327	7,568
売上総利益	2,845	2,143
販売費及び一般管理費	1,376	1,237
営業利益	1,468	905
営業外収益		
受取利息及び配当金	61	73
持分法による投資利益	—	2
為替差益	—	41
その他	37	33
営業外収益合計	98	150
営業外費用		
支払利息	20	20
持分法による投資損失	12	—
その他	41	34
営業外費用合計	74	55
経常利益	1,493	1,000
特別利益		
投資有価証券売却益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
固定資産除却損	18	11
特別損失合計	18	11
税金等調整前四半期純利益	1,474	1,000
法人税、住民税及び事業税	193	133
法人税等調整額	199	168
法人税等合計	392	301
四半期純利益	1,081	698
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,081	698



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,081	698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△221	△288
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	19	24
退職給付に係る調整額	△160	△27
その他の包括利益合計	△362	△291
四半期包括利益	719	406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	719	406

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	空調関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,748	4,722	228	1,271	9,972	200	10,172	—	10,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	46	5	7	61	73	134	△134	—
計	3,750	4,769	234	1,279	10,034	273	10,307	△134	10,172
セグメント利益	410	667	136	252	1,466	1	1,468	0	1,468

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,555	3,733	228	9,517	193	9,711	—	9,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	92	5	97	65	163	△163	—
計	5,555	3,825	233	9,615	259	9,874	△163	9,711
セグメント利益	683	86	136	906	6	913	△7	905

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(「空調関連事業」区分の廃止)

前連結会計年度において、空調関連事業を行ってございました日本ピュアテック株式会社の全株式を譲渡し、同社及び同社の子会社のロックゲート株式会社を連結の範囲から除外したため、当第1四半期連結会計期間より空調関連事業を報告セグメントから廃止しております。